

競技注意事項

1. 本競技会は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則に従って行う。
ただし、競技規則162条5は適用しない。

2. 招集について

競技者は、招集開始時刻までに招集所に集合し、点呼を受けること。その際、競技会役員がナンバーカードとスパイクピンの長さ等を確認する。点呼・確認後、競技者は招集所に待機し、招集完了時刻に競技者係の誘導に従い移動すること。

棄権する競技者は、競技者係にその旨を届け出ること。

(1) 招集場所 競技者の招集所は第4ゲート外側（100mスタート側）に設ける。

(2) 招集時間

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	20分前
フィールド競技	50分前	40分前
棒 高 跳	75分前現地	60分前現地

(3) 下記の種目は時間差招集とする

競技種目	招集組	招集開始時刻	招集完了時刻
1年男子 100m予 1年女子 100m予 2年男子 100m予 2年女子 100m予 3年男子 100m予 3年女子 100m予 共通男子 200m予 共通女子 200m予	1組～4組	競技開始30分前	競技開始20分前
	5組～最終組	競技開始20分前	競技開始10分前
共通男子 400m予 共通男子 800m予 1年女子 800m予 共通女子 800m予 共通男子 1500m決 共通女子 1500m決	1組～3組	競技開始30分前	競技開始20分前
	4組～最終組	競技開始20分前	競技開始10分前
共通男子 3000m決	1組・2組	競技開始30分前	競技開始20分前
	3組	競技開始20分前	競技開始10分前

(4) 招集時刻に遅れた競技者は棄権とみなす（代理人不可）。ただし、同時に2種目に出場する競技者は、最初の種目の時にその旨を競技者係に申し出ること。

(5) 混成競技の招集は、それぞれの競技日の1種目のみ招集所で行い、他は現地で行う。
また、102号室を混成競技者控室とする。

3. リレーのオーダー用紙は、1組目の招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。
ただし、招集は規定通り受けなければならない。（用紙は招集所に用意する。）
なお、予選・決勝ともにオーダー用紙を提出すること。

4. ナンバーカードは、ユニフォームの胸と背に確実につけること。ただし、跳躍競技は、胸または背のいずれか一方だけでよい。

5. 用器具について

大会に使用する器具は、競技場に備えつけのものを使用すること。（ポールを除く。）

6. バーの上げ方について

男子 走高跳	135(練習) 140-145-150-155-160-165-170-175-180-182 以降2cm毎
女子 走高跳	120(練習) 125-130-135-140-145-150-155-160-162 以降2cm毎
棒 高 跳	190(練習) 200-210-220-230-240-250-260-270-280-290-300
四種男子走高跳	115(練習) 120-123- 3cm毎
四種女子走高跳	105(練習) 110-113- 3cm毎

(注)第1位が同成績の場合、順位決定のバーの上げ下げは走高跳で2cm、棒高跳で5cm単位とする。

7. 投てき競技について

投てき競技者は、練習・本競技を問わず、投てき審判員の指示に従って行い、不測の事故が起こらないように注意すること。

8. ウォーミングアップについて

次頁、別紙参照

9. 表彰について

各競技種目で第8位までの入賞者を表彰する。表彰式は行わないので各学校の代表者が、本競技場103号室に取りに来ること。

10. 競技方法

(1)トラック競技の予選は全てタイムレースとし、決勝を行う。ただし、1500m・3000mは、決勝タイムレースとする。グループスタートを行う場合もある。天候によっては給水を準備する。

(2)男女800m決勝は、第2コーナーまではセパレートレーンで行う。

(3)走幅跳・砲丸投においては、下表の通りショート記録（未満の記録は計測しない）を設ける。また、砲丸投は、予選・決勝を行う。下記の予選通過標準記録を設ける。予選通過標準記録を超えたものが12名に満たなかった場合、決勝進出者は予選成績により追加補充される。なお、この予選通過標準記録は、天候その他特別な状況が生じた場合に限り、当該審判長の判断により、変更されることがある。男女とも決勝は、12名で行い、試技3本、トップ8で、試技3本を行う。

	走 幅 跳	砲 丸 投	
	ショート	ショート	予選通過記録
男子	5 m 1 0	7 m 5 0	1 3 m 0 0
女子	4 m 1 0	8 m 0 0	1 2 m 5 0

※補足1 ・予選の記録は、決勝記録の一部としてはみなさない。個人の記録としては残る。

※補足2 ・一度予選通過標準記録に達した競技者は、予選でその後の試技は許されない。

(4) 混成競技について

混成競技においては、第3種目までの集計結果で、得点の高い順に1番～胸ナンバーカードをつける。また、102号室を混成競技者控室とする。

(5) 不正スタートについて

本競技会は、1回目不正スタート失格、ただし、新ルールを適用する。

11. その他

(1)使用するスパイクのピンは、全て9mm以下とする。

(2)競技者、応援者とも全員スタンドまたは芝生席にあがること。

(3)競技中、正面スタンド下の通路とグリーン帯は通行できない。

(4)競技場内、本部前のコンクリート部分をスパイクで通らないこと。

(5)玄関にあるコンピュータ、及び器具庫の器具、競技場に設置されている器具には触れない。

(6)リレー競技の全国大会出場権は、本大会及び、県総体の1位でタイムのよい学校とする。

(7)競技場内での撮影については、競技役員から声をかけさせていただくことがあります。

また、場合によっては警察に通報をさせていただくこともあります。

※. ウォーミングアップ注意事項詳細

コース内での練習について

1. ホームストレートおよび1・2レーンでの周回練習については、次のとおりとする。
 - (1) 6月30日・7月1日ともに、7：00～9：45の時間のみ使用してもよい。
 - (2) 1・2レーンを使つてのウォーキングや集団のジョグはしない。
 - (3) ドリルや器具を使用するのアップは、できる限りコース外を使用する。また、複数レーンを1校で占有しない。
 - (4) 30日は、9：00～9：30の間、ハードル競技のための、練習場所を設定する。
2. トラック外周（グリーンゾーン）を使用するのアップについては、次のとおりとする。
 - (1) 競技のさまたげにならないように、競技役員の指示に従うこと
 - (2) 流しやスタートダッシュは逆走してはならない。
ただし、長距離種目におけるスタート前の流しについては、競技役員の指示のもと逆走してもよい。
 - (3) 30日11：30～男子走幅跳の競技終了までは、助走路横はアップに使用できない。
 - (4) 1500mの選手は、第2コーナーから200mスタート地点後方までの7～9レーンを使用。
 - (5) 1日10：00～女子走幅跳の競技終了までは、助走路横はアップに使用できない。
3. リレーにおけるコース内での練習は、競技に支障をきたさないよう、競技役員の指示に従う。
 - (1) ホームストレートのみ使用する競技中は、第2・第3コーナーを使用してもよい。
 - (2) 200mの競技中は、第2コーナーのみ使用してもよい。
 - (3) 800mの競技中は、コース内での練習は禁止とする。
 - (4) 1500m、3000mの競技中は、スタートの妨げにならないよう競技役員の許可を得て行う。
その場合も、ゴール付近および1～6レーンは使用できない。7～9レーンを使用すること。
4. 砲丸投のアップは、安全に十分注意して行うこと。
 - (1) 砲丸を使用するのアップは、第3ゲート外の練習場を使用すること。
5. バックスタンド裏の練習コースの使用について
 - (1) ハードルの練習時間帯は、ハードルを設置して練習してもよいが、共同で使用する。
 - (2) スターティングブロックは、準備されているものを共同で使用する。
6. その他
 - (1) 接触事故を防止するため、急な進路変更はしない。
またレーンを横切ったり、進路を変更する場合は、周囲をよく確認すること。
 - (2) 芝生保護のため、芝生内に器具を設置するのアップは行わない。